

# フード・フォーラム・つくば 企業交流展示会2023 「持続可能なじゃがいも生産」について紹介 病害虫に強いじゃがいもを展示

ケンコーマヨネーズ株式会社（東京本社：東京都杉並区、代表取締役社長：島本 国一、以下「当社」）は、11月8日（水）につくば国際会議場で開催されたフード・フォーラム・つくば主催の「フード・フォーラム・つくば 企業交流展示会2023」にてポテトインダストリー※1の育種機関と実需機関としてポスター発表を行いました。



【参加した当社従業員】



【会場でのじゃがいも展示】

※1 **ポテトインダストリー**とは・・・  
じゃがいも産業に関する研究機関とメーカーの総称として使用しています。新しい品種の普及活動に賛同した機関による団体です。

- ・長崎県農林技術開発センター
  - ・道総研北見農業試験場
  - ・カルビーポテト株式会社
  - ・農研機構北海道農業研究センター
  - ・カルビー株式会社
  - ・ケンコーマヨネーズ株式会社
- 育種機関と需要機関として6団体で出展

当社はブースを出展し、「持続可能なジャガイモ生産のための新品种紹介と取組」のポスターを発表しました。

ポテトインダストリーの育種機関は、サラダ加工適性が高くポテトサラダなどに向いている品種「さやか」や、チップ加工適性が高くポテトチップスに向いている品種「しんせい」など、用途に合わせた使いやすい品種を開発しています。

じゃがいもを持続的に生産するために、病害虫に強く栽培しやすい品種の普及が重要です。病害虫では「ジャガイモシストセンチュウ」※2の被害が問題となっています。そのため、抵抗性を持つ品種とその他複数の病害虫抵抗性を持ち、用途に合わせて加工適性があるじゃがいもが求められ、開発が進められています。最近では、「ジャガイモシストセンチュウ」に抵抗性を持つ品種が開発され増加しています。展示会では抵抗性がある品種のじゃがいもを実際に並べ、形状や断面の色の違いを分かりやすく展示しました。

当社は今後も食の発展のために食に関わる研究、発表を通じて豊かな食に貢献してまいります。

※2 「ジャガイモシストセンチュウ」とは・・・

南米原産の病害虫のセンチュウで、1972年に北海道で発生が確認されました。シスト（メス成虫が変化したもの。直径0.2～0.6mmの球形で卵が入っている）を持つセンチュウで長期間生存します。じゃがいもの根に侵入し養分を吸収。症状は、葉の萎れなどが現れ、収量が50%程度減少してしまうこともあり、農家にとって問題となっています。

## フード・フォーラム・つくば 企業交流展示会2023概要

主催者 : フード・フォーラム・つくば  
会期 : 2023年11月8日(水)  
開催場所 : つくば国際会議場  
内容 : 企業交流展示会 2023  
当社を含めて10団体が出展し、食品に関わる企業が自社の製品や技術を紹介しました。

「本資料に関するお問い合わせ先」

ケンコーマヨネーズ株式会社 経営企画本部 広報・IR課 Mail : kouho@kenkomayo.co.jp